Japan. Endless Discovery.

関西のインバウンド観光の現状と取り組み

平成28年9月23日

国土交通省 近畿運輸局 観光部長 福西 謙

訪日外国人旅行者で沸き返る「大阪ミナミ」

国土交通省 近畿運輸局

心斎橋・道頓堀・戎橋というメインだけでなく、黒門市場では、魚屋や精肉店の店先のテーブルや椅子が据え付けられ、買った物を食べられるイートインに多くの中華系外国人が訪れる。最近では、「うらなんば」といわれる、一歩入った小さな隠れ家的な店が多い界隈は、本来ライバル同士である飲食店が、ここでは飲食店同士の横のつながりがこのエリアを盛り上げている。

メインの道頓堀・戎橋

うらなんば・黒門市場

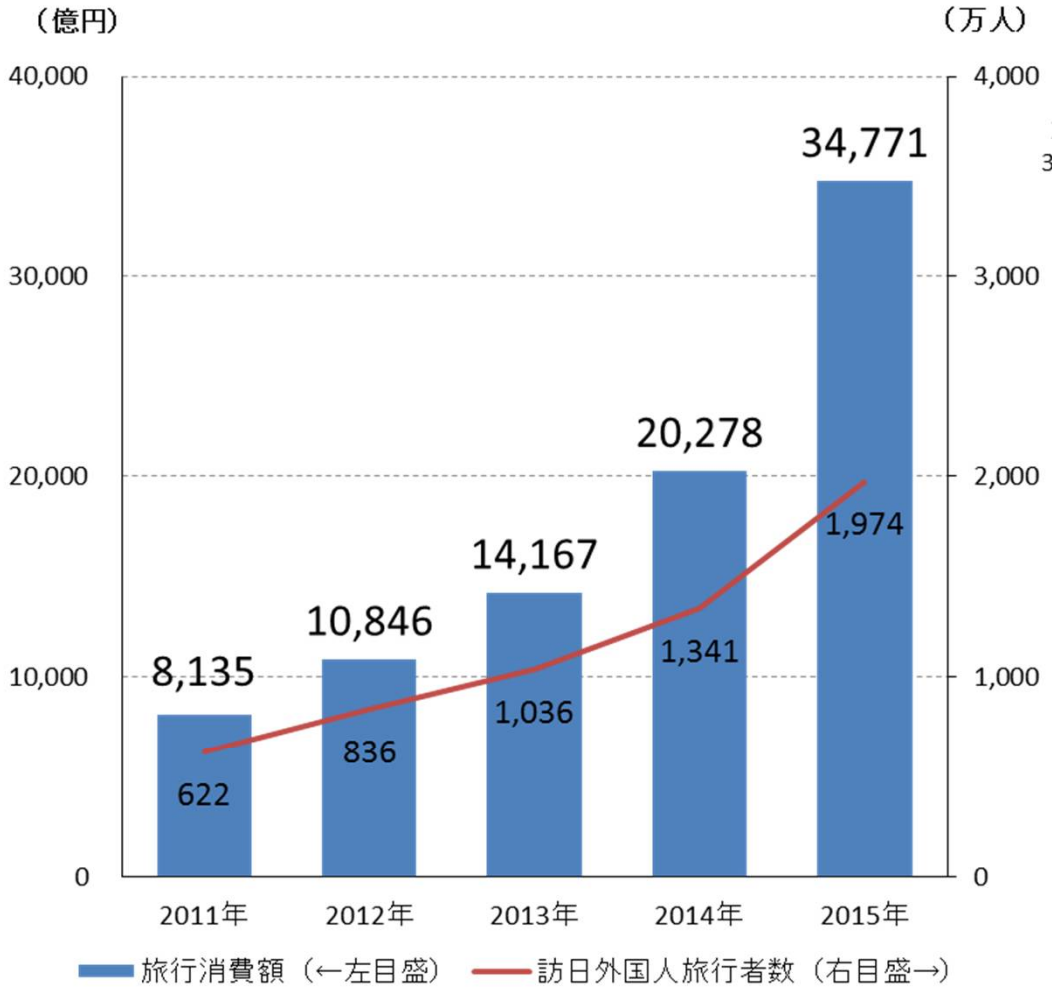
2015年の訪日外国人旅行消費額

国土交通省近畿運輸局

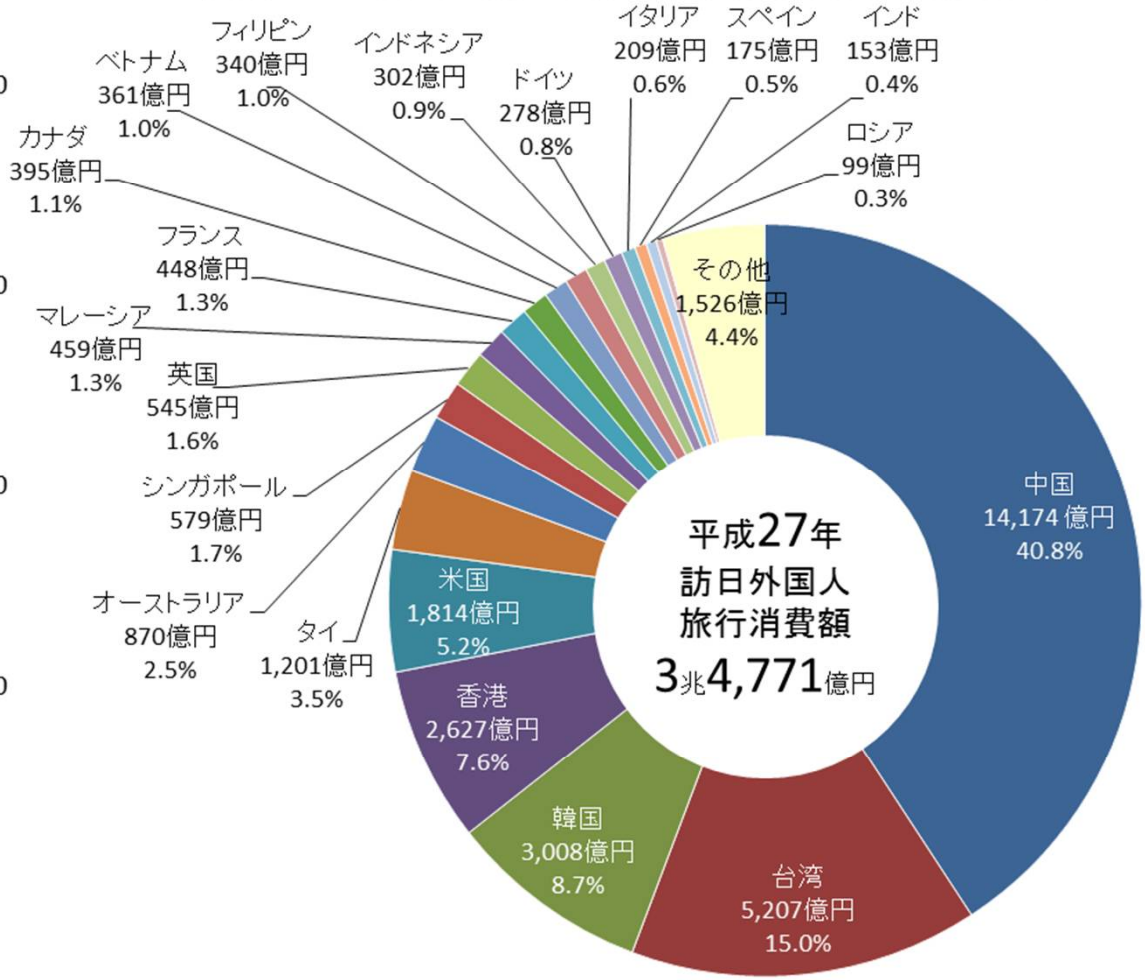
○　2015年の訪日外国人旅行消費額は、前年（2兆278億円）に比べ71.5%増の3兆4,771億円となり、年間値で初めて3兆円を突破し、過去最高値を記録。

○　国籍・地域別に旅行消費額をみると、中国が14,174億円（対前年比153.9%増）と最も大きく、全体の4割を占めている。次いで、台湾5,207億円（同46.9%増）、韓国3,008億円（同43.9%増）、香港2,627億円（同91.8%増）、米国1,814億円（同23.0%増）の順となっており、これら上位5カ国で旅行消費額全体の4分の3以上を占めている。

旅行消費額と訪日外客数の推移



国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局(JNTO)

観光交流人口増大の経済効果（2015年）

国土交通省近畿運輸局

○定住人口１人当たりの年間消費額（125万円）は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者（宿泊）25人分、国内旅行者（日帰り）80人分にあたる。

定住人口＝1億2，589万人
1人当たり年間消費額＝125万円

旅行消費額

訪日外国人旅行3．5兆円

国内旅行（海外分除く）20．4兆円
うち宿泊旅行　15．8兆円
うち日帰り旅行　4．6兆円

訪日外国人旅行者
1，974万人
1人1回当たり消費額
17万6，167円

＋

国内旅行者（宿泊＋日帰り）
6億0，472万人 <延べ人数>
うち宿泊　3億2，199万人
うち日帰り　2億9，173万人
1人1回当たり消費額
宿泊　5万0，520円
日帰り　1万5，758円

減少
定住人口１人減少分

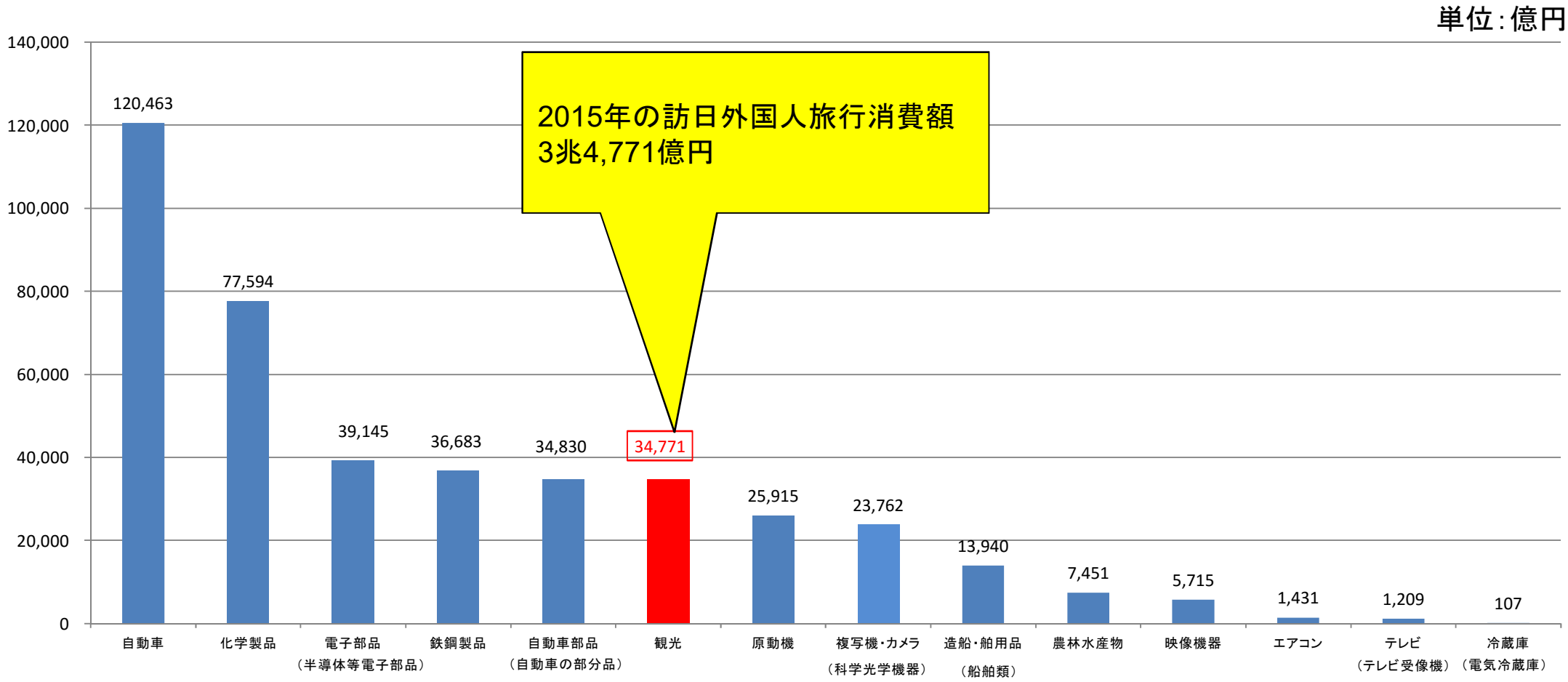
拡大
外国人旅行者8人分
又は
国内旅行者（宿泊）25人分
又は
国内旅行者（日帰り）80人分

定住人口は平成28年1月1日時点の住民基本台帳に基づく人口（総務省）、定住人口１人当たり年間消費額は2015年家計調査（総務省）による。
旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査（2015年）より算出、国内旅行は旅行・観光消費動向調査（2015年）より算出。
訪日外国人旅行者はJNTO（2015年）発表数値、国内旅行者は旅行・観光消費動向調査（2015年）より算出。
訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査（2015年）、国内旅行者（宿泊/日帰り）1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査（2015年）より算出。
定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口１人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したもの。（※観光庁資料）

訪日外国人旅行消費額の製品別輸出額との比較（2015年）

国土交通省近畿運輸局

○2015年の訪日外国人旅行消費額は3兆4,771億円で、自動車部品の輸出額に近い水準となっている。

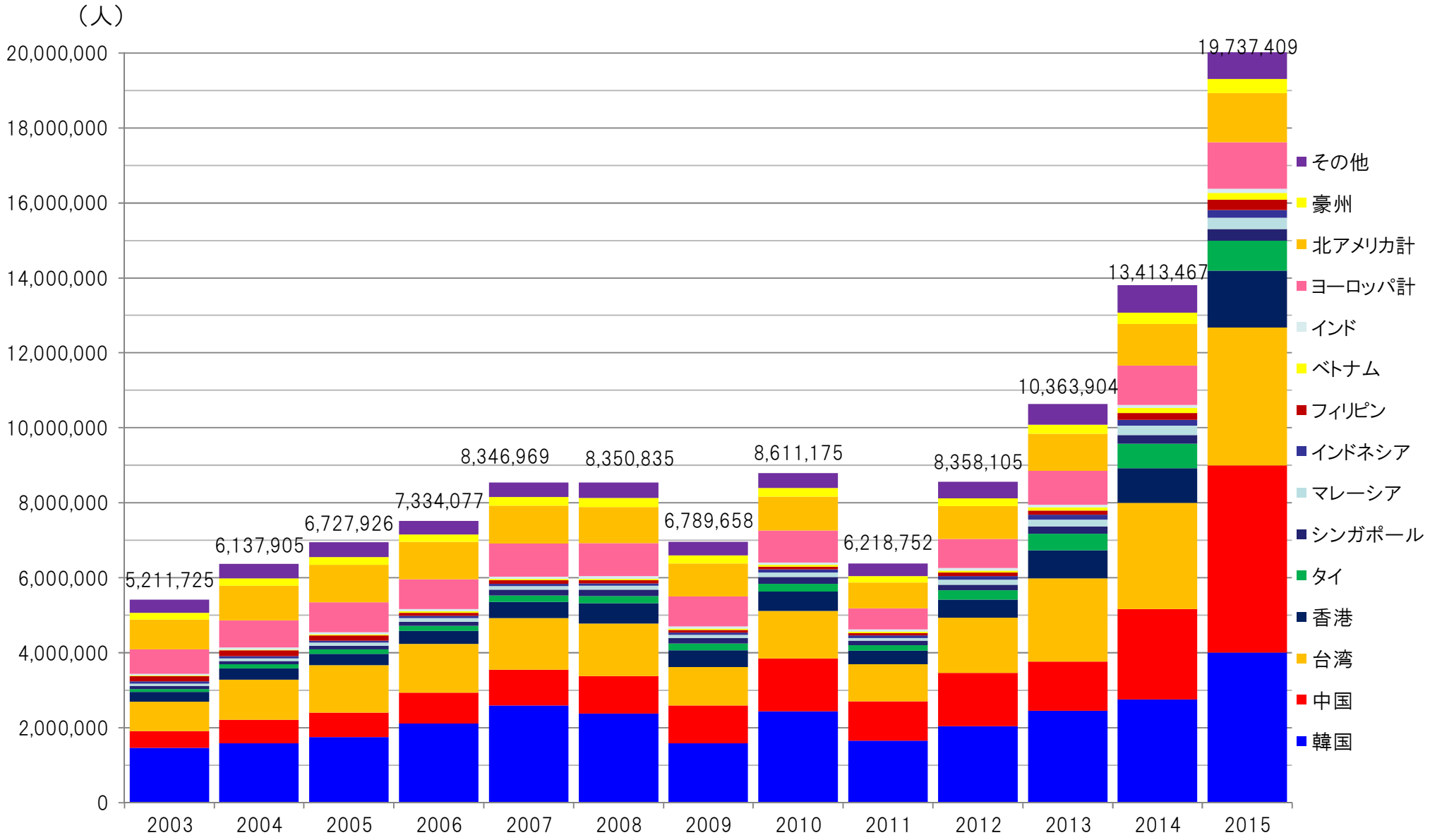


※観光、造船・舶用品および農林水産物以外の各製品の金額は貿易統計（財務省）より算出。
※造船・舶用品以外の金額は2015年の値。
※造船・舶用品の金額は2014年の値で、海事局データより算出。
※農林水産物の金額は農林水産省公表値。
※映像機器にはテレビの輸出額を含む。
※カッコ内に記載の品名は、貿易統計における品名を示す。

訪日外国人旅行者数及び割合（国・地域別）の推移

国土交通省近畿運輸局

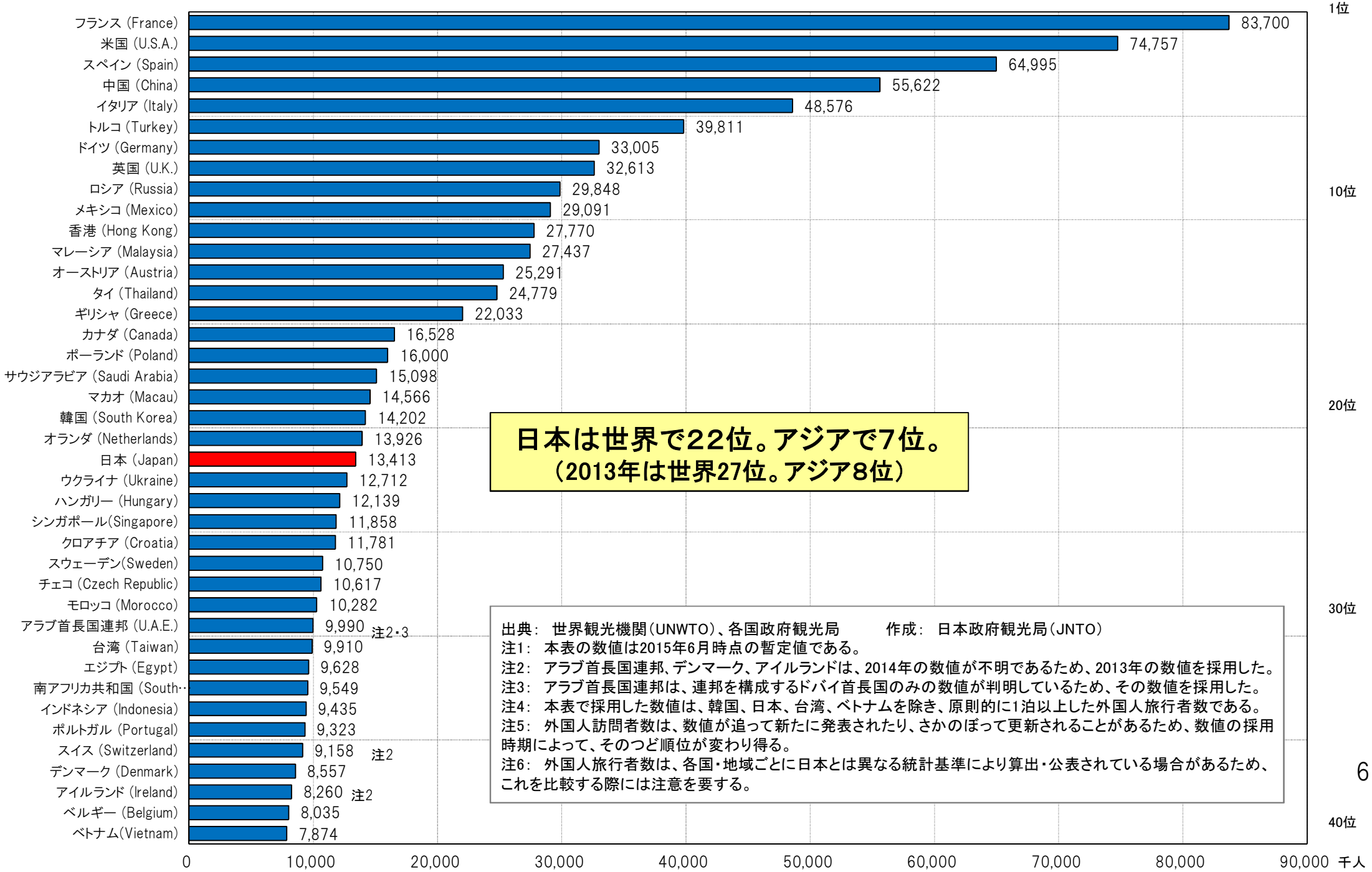
〇2003年のVJ開始以降、リーマンショック後の2009年、東日本大震災の2011年を除き、訪日外国人旅行者数は堅調に増加
〇欧米からの訪日者数はほぼ安定している一方、アジアからの訪日者数は急増



日本政府観光局（JNTO）資料より近畿運輸局作成

世界各国・地域への外国人訪問者数（2014年　上位40位）

国土交通省近畿運輸局

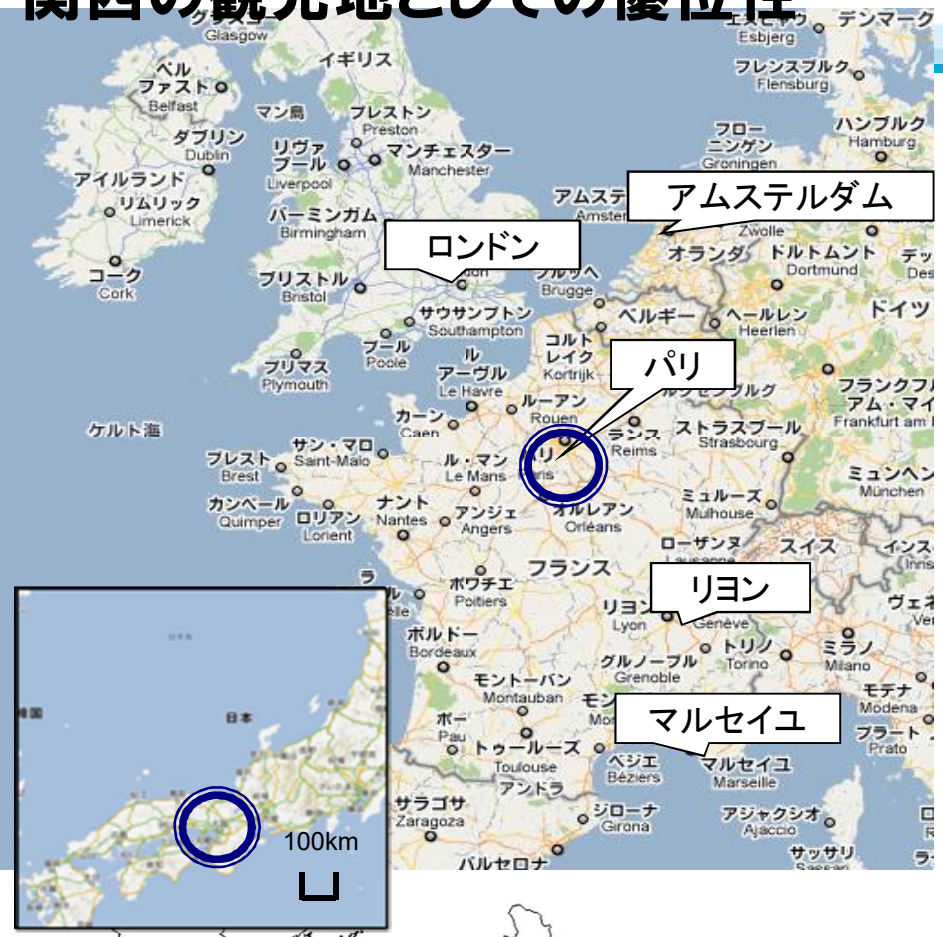


日本は世界で22位。アジアで7位。
（2013年は世界27位。アジア8位）

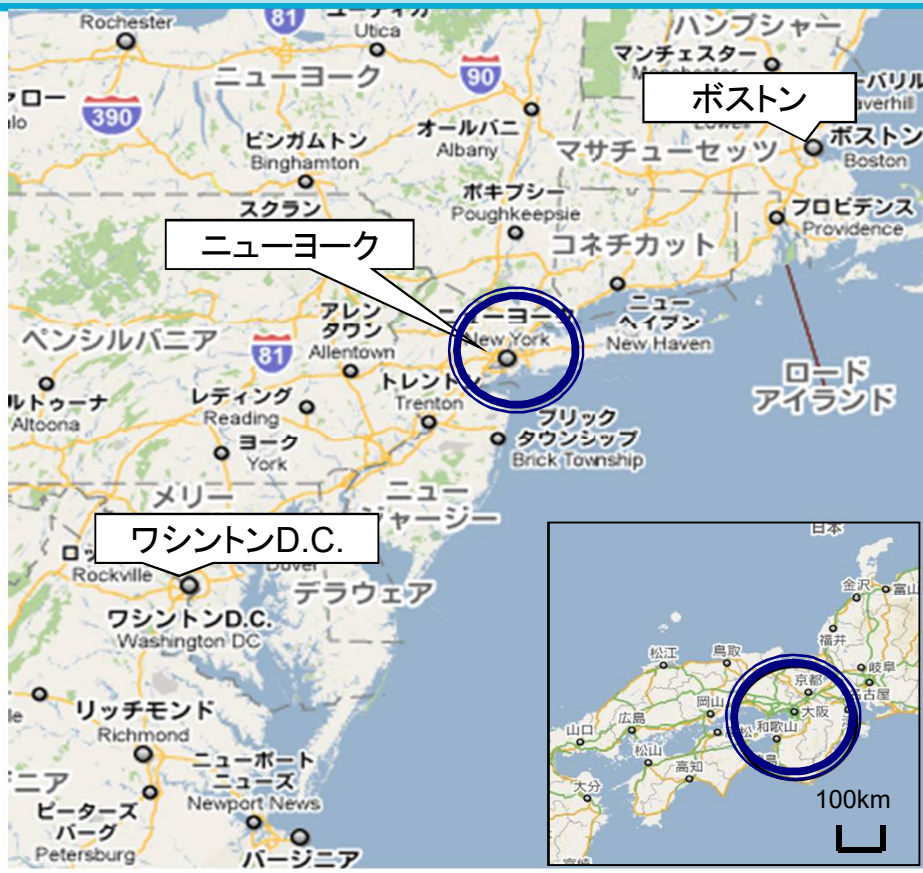
出典：　世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局　　作成：　日本政府観光局（JNTO）
注1：　本表の数値は2015年6月時点の暫定値である。
注2：　アラブ首長国連邦、デンマーク、アイルランドは、2014年の数値が不明であるため、2013年の数値を採用した。
注3：　アラブ首長国連邦は、連邦を構成するドバイ首長国のみの数値が判明しているため、その数値を採用した。
注4：　本表で採用した数値は、韓国、日本、台湾、ベトナムを除き、原則的に1泊以上した外国人旅行者数である。
注5：　外国人訪問者数は、数値が追って新たに発表されたり、さかのぼって更新されることがあるため、数値の採用時期によって、そのつど順位が変わり得る。
注6：　外国人旅行者数は、各国・地域ごとに日本とは異なる統計基準により算出・公表されている場合があるため、これを比較する際には注意を要する。

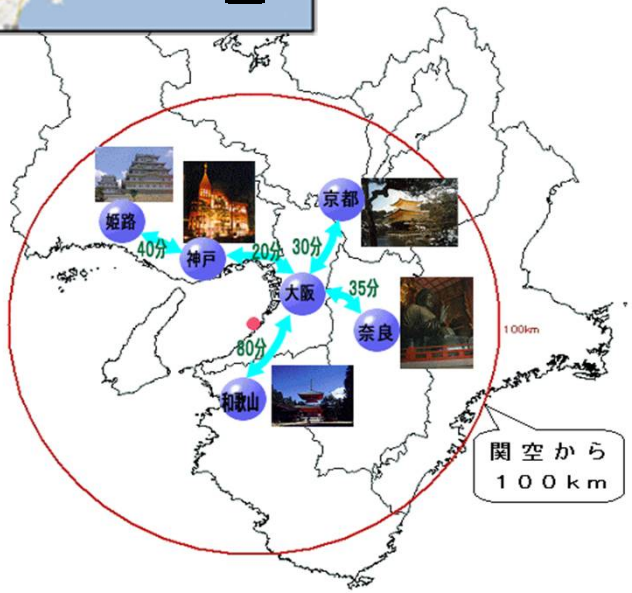
関西の観光地としての優位性

国土交通省近畿運輸局



関西の特色
・高い公共交通の利便性
・独自性のある多様な観光地が多数存在





■ 魅力的な観光資源が、大阪から100km圏内に集中

多数の世界遺産
（日本の世界遺産２０ヶ所中５ヶ所が近畿圏）
国宝の約６割・重要文化財の約５割が所在

大阪 → 京都　JR新快速 27分（15分毎）
　　阪急特急 44分（10分毎）
天満橋→京都(四条) 京阪特急 46分（10分毎）

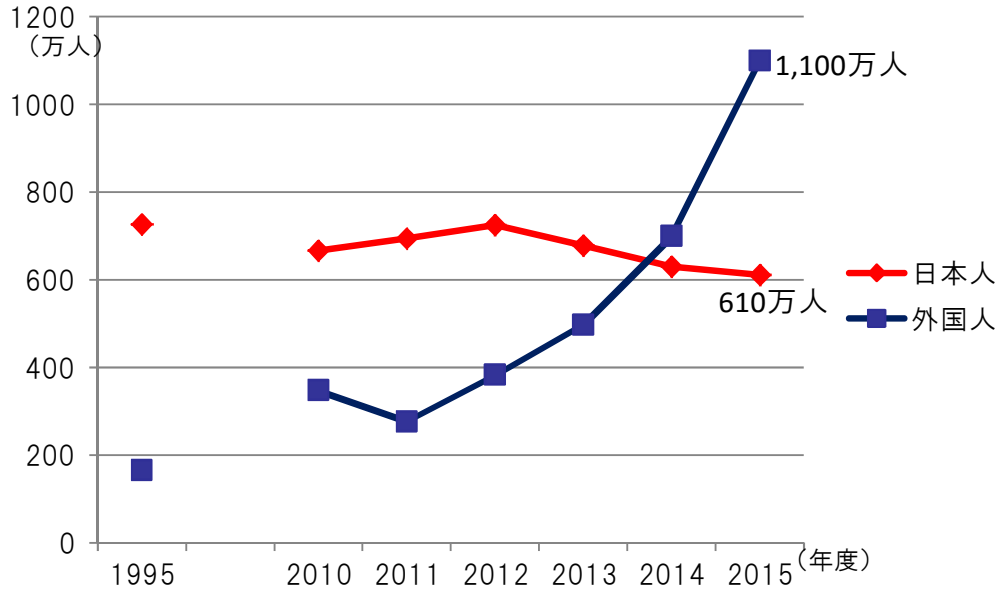
大阪(難波)→ 奈良 近鉄快速 39分（10分毎）
天王寺 → 奈良 JR快速 34分（20分毎）

大阪 → 三ノ宮 JR新快速 21分（15分毎）
梅田 → 三宮 阪急特急 29分（10分毎）

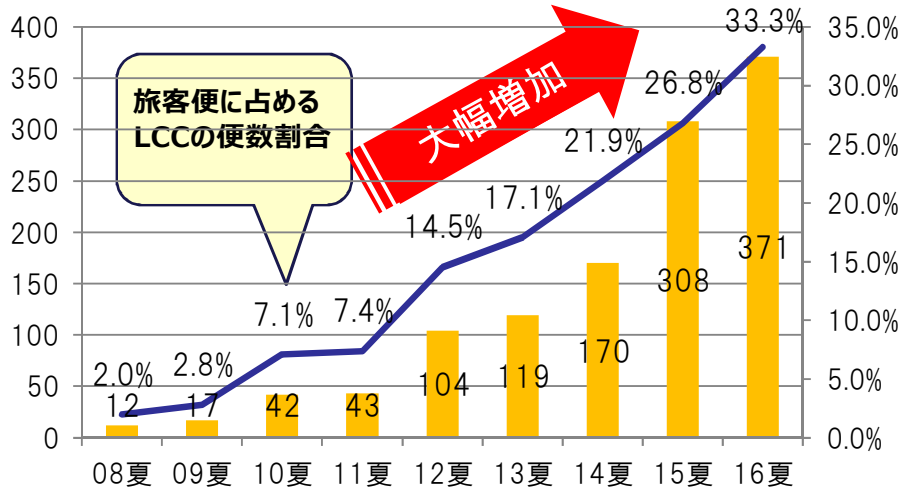
天王寺 → 和歌山 JR快速 69分（20分毎）
なんば → 和歌山 南海特急 63分（15分毎）

関西国際空港外国人入国者数

関西国際空港　国際線旅客数の推移

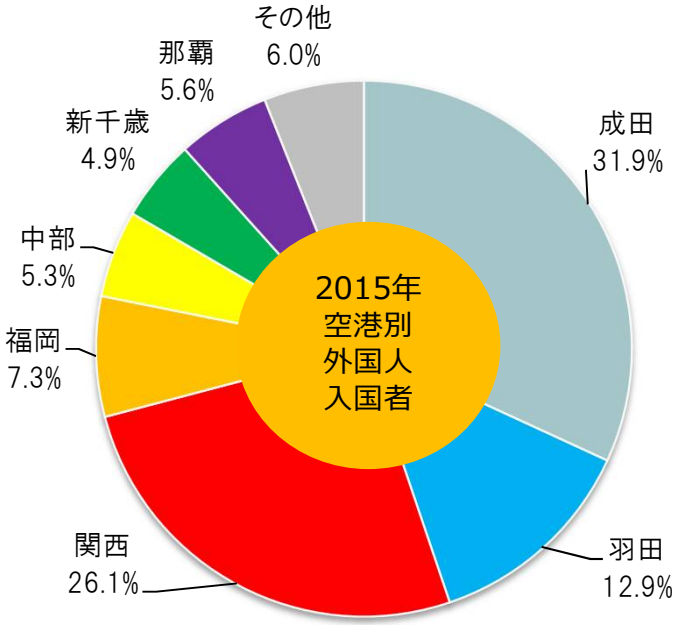


関空における国際線LCC便数の推移

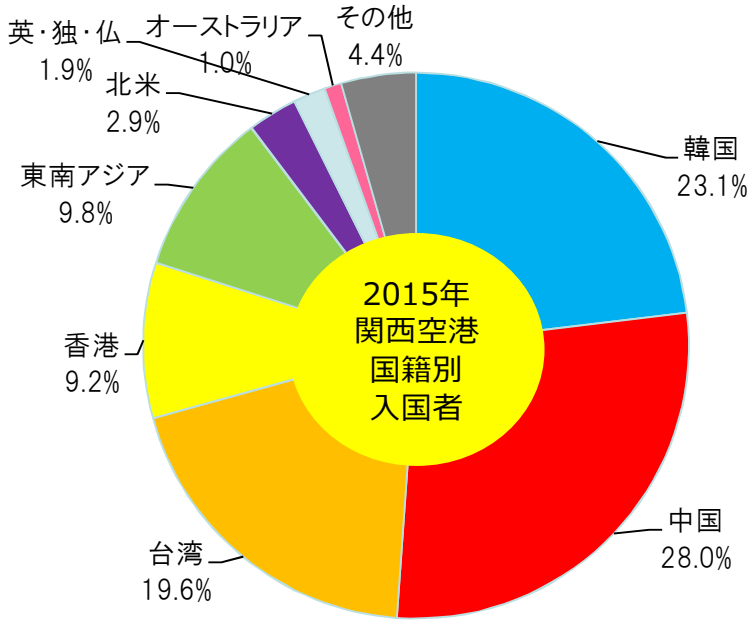


（出典：新関西国際空港（株））

平成27年　空港別外国人入国者数



平成27年　関西空港外国人入国者国別比率



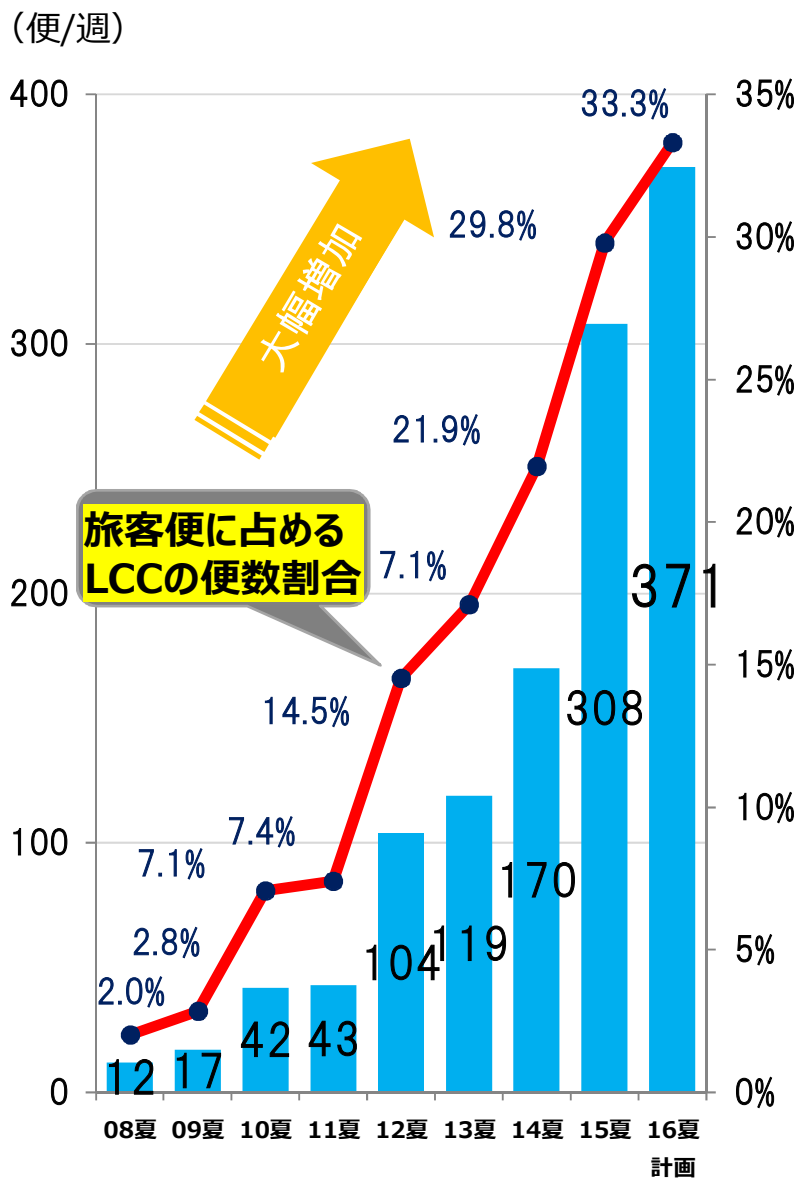
（出典：法務省出入国管理統計）

関西国際空港における国際線LCC就航状況

国土交通省近畿運輸局

18社　24都市　371便/週　（2016年9月計画）

関空における国際線LCC便数の推移
(夏スケジュールリリース時点における9月計画)



①ﾋﾟｰﾁ・ｱﾋﾞｴｰｼｮﾝ
5路線・77便

②ﾁｪｼﾞｭ航空
3路線・42便

③ｲｰｽﾀｰ航空
2路線・21便

④ｴｱﾌﾟｻﾝ
1路線・21便

⑤ﾃｨｰｳｪｲ航空
3路線・24便

⑥ｼﾞﾝｴｱｰ
2路線・28便

⑦香港ｴｸｽﾌﾟﾚｽ
1路線・25便

⑧春秋航空
11路線・40便

⑨ｼﾞｪｯﾄｽﾀｰ航空
1路線・5便

⑩ｼﾞｪｯﾄｽﾀｰ・ｱｼﾞｱ航空
2路線・14便

⑪ｼﾞｪｯﾄｽﾀｰ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ航空
3路線・18便

⑫ｾﾌﾞ・ﾊﾟｼﾌｨｯｸ航空
1路線・5便

⑬ｴｱｱｼﾞｱX
1路線・7便

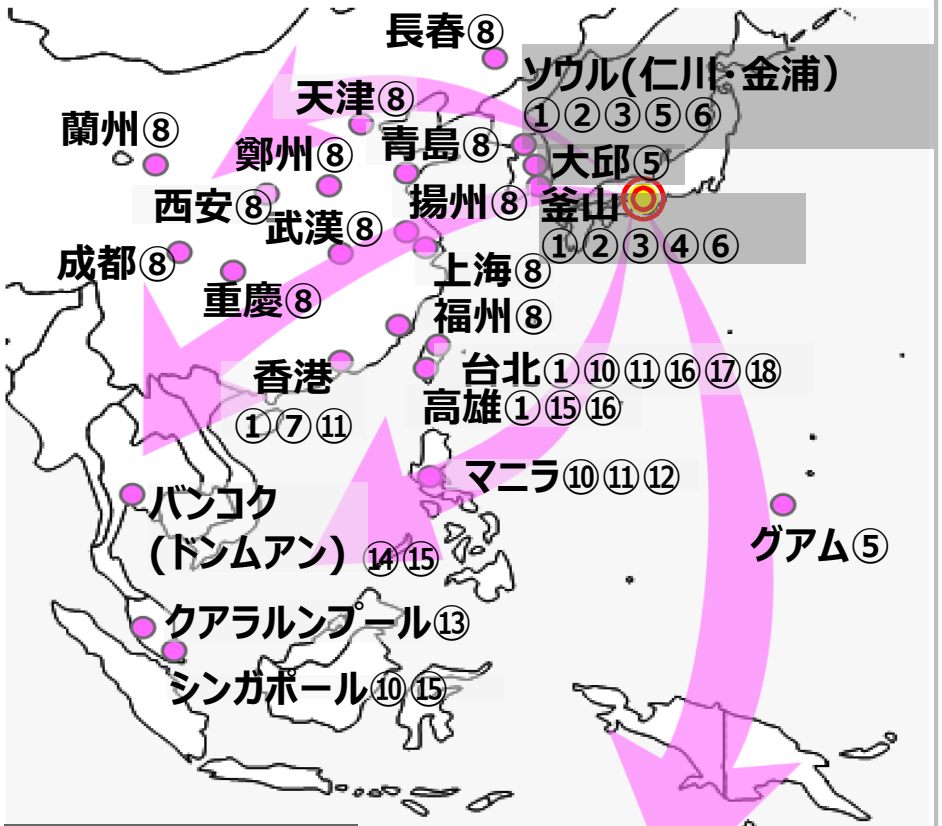
⑭ﾀｲ・ｴｱｱｼﾞｱX
1路線・7便

⑮ｽｸｰﾄ
2路線・6便

⑯ﾀｲｶﾞｰ・ｴｱ台湾
2路線・17便

⑰V ｴｱ
1路線・7便

⑱ﾊﾞﾆﾗ・ｴｱ
1路線・7便



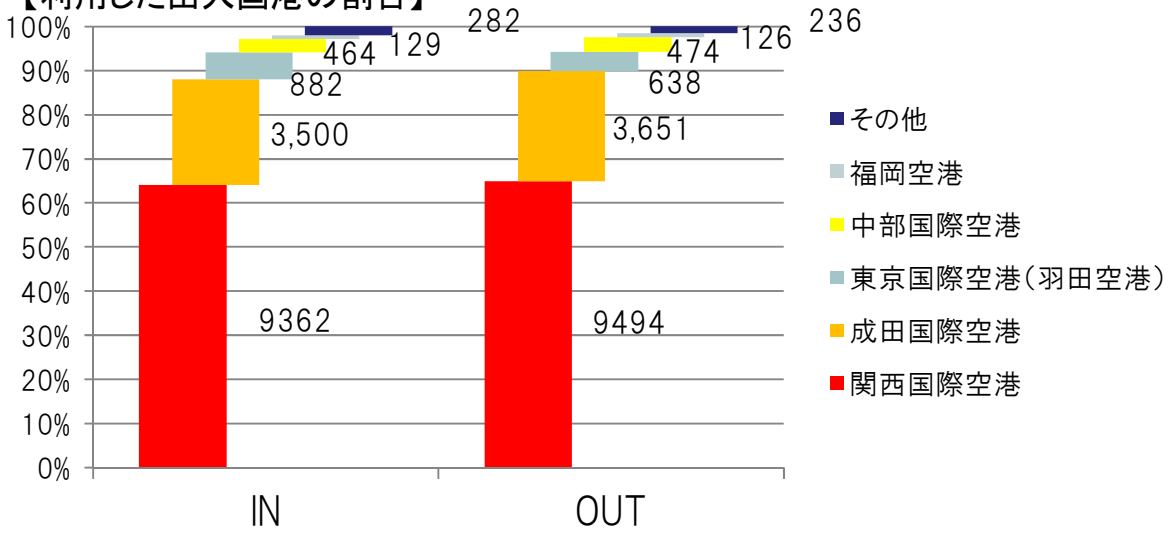
（資料提供：新関西国際空港（株））

関西を訪れた訪日外国人旅行者の傾向（2015年）

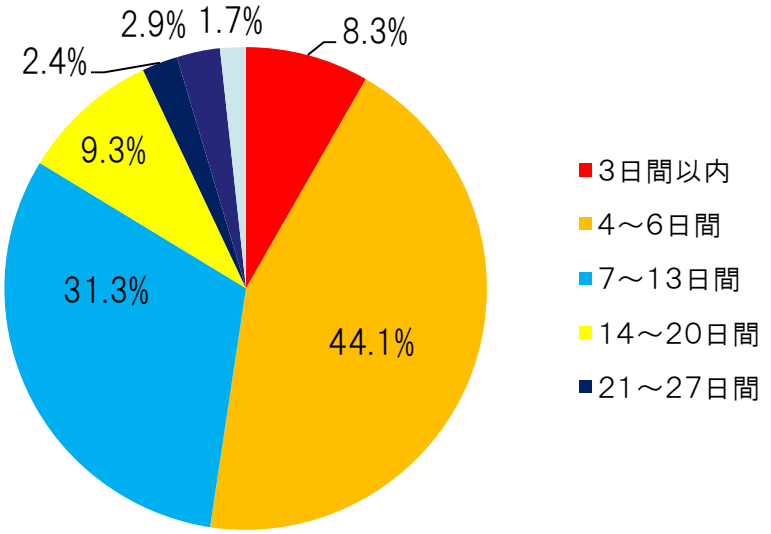
国土交通省近畿運輸局

○利用港についてはＩＮ・ＯＵＴともに傾向に大きな変化はない。いずれも関空が６割超。
○滞在日数は１週間までが半数を占め、２週間までを含めると８割を超える。
○訪日回数については初訪日が半数強であるが、２～５回目も３割超を占め、10回以上も約1割。
○手配方法については、個別手配が７割弱を占めている。

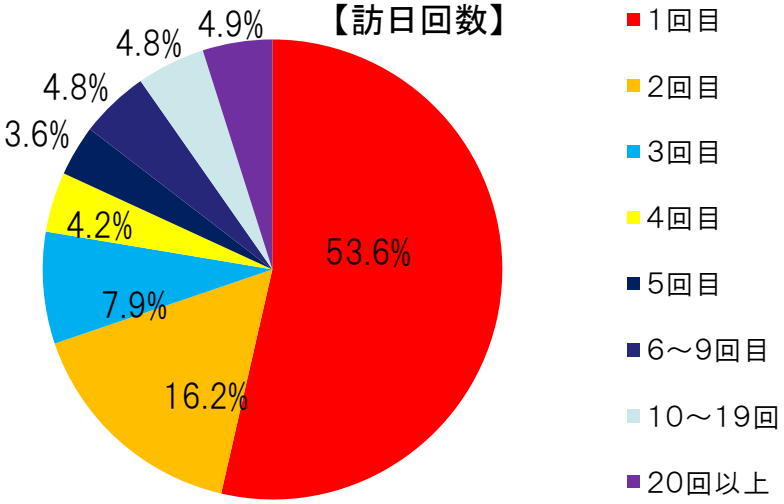
【利用した出入国港の割合】



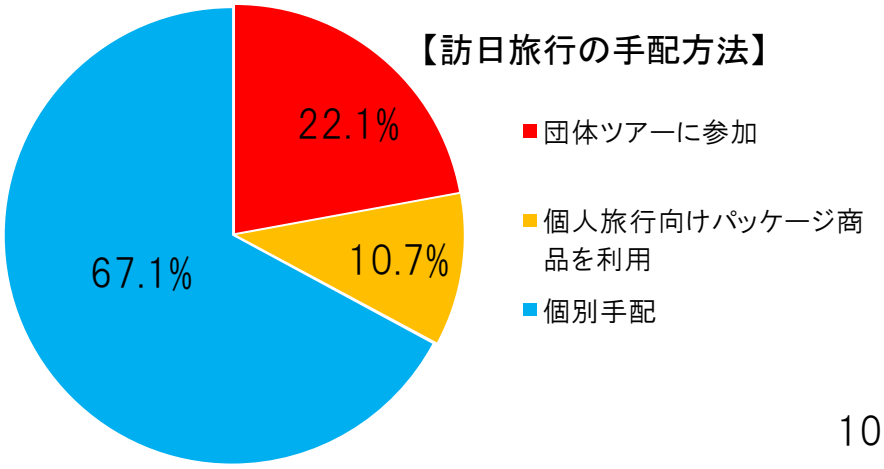
【日本での滞在日数】



【訪日回数】



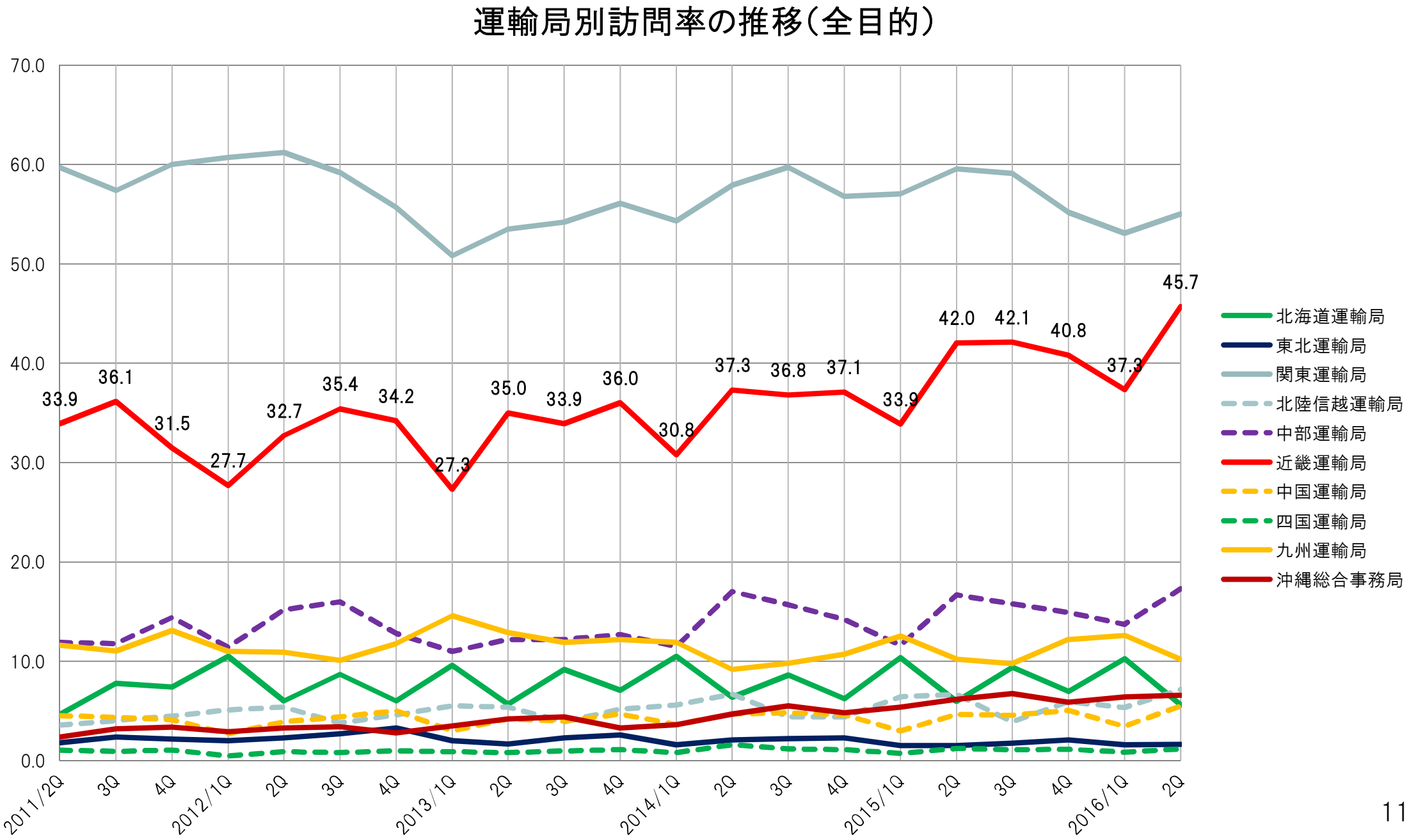
【訪日旅行の手配方法】



＊観光庁「訪日外国人消費動向調査」より近畿運輸局管内の府県を訪問した外国人旅行者について作成。サンプル数：14619名

運輸局別 訪問率の推移（全目的）

国土交通省近畿運輸局

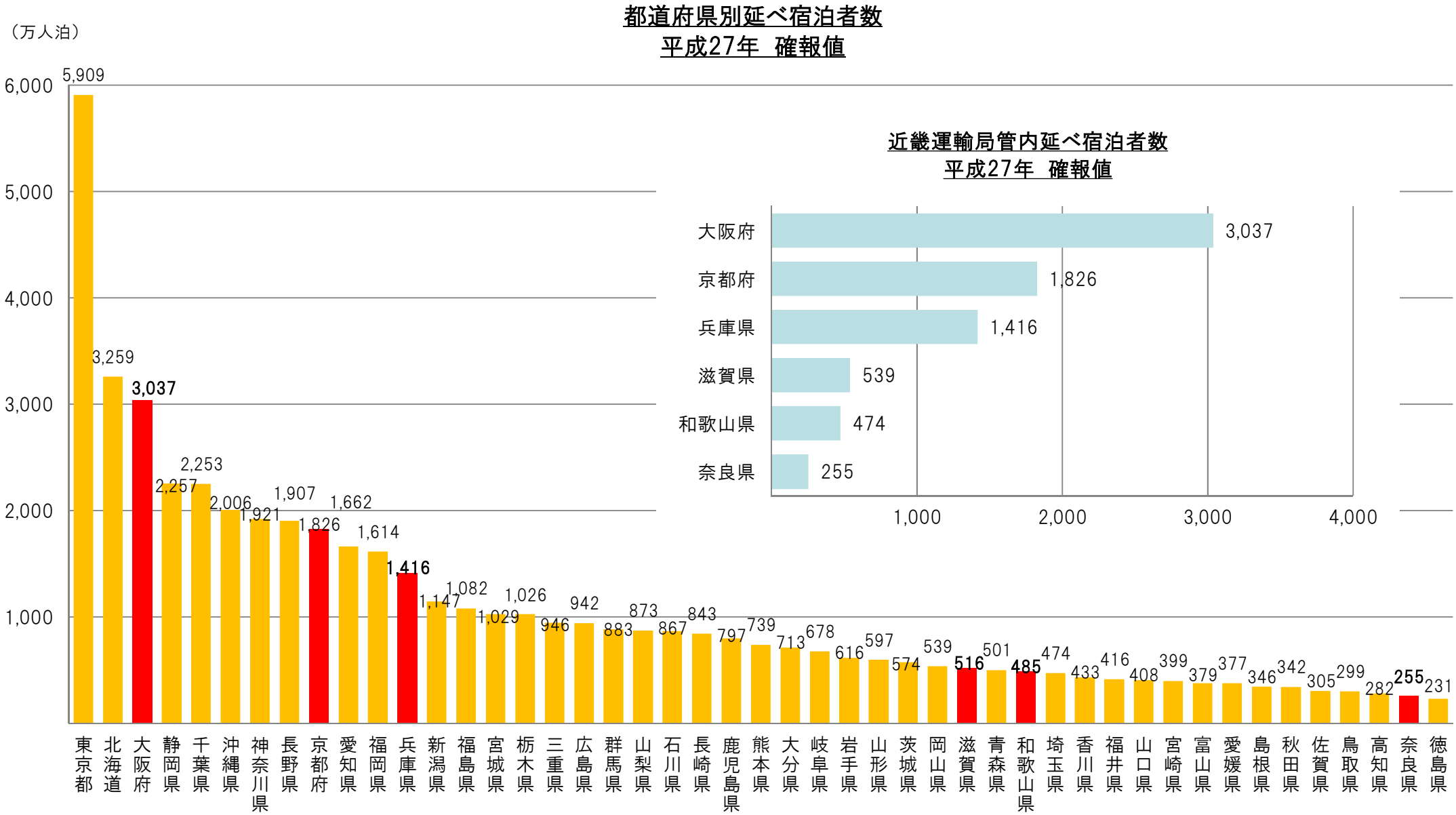


（観光庁　訪日外国人消費動向調査より近畿運輸局作成）

都道府県別延べ宿泊客数（平成27年：確報値）

国土交通省近畿運輸局

○都道府県別延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が北海道、第3位が大阪府、第4位静岡県、第5位千葉県であり、上位10都道府県で全国シェアの半分以上を占めている。

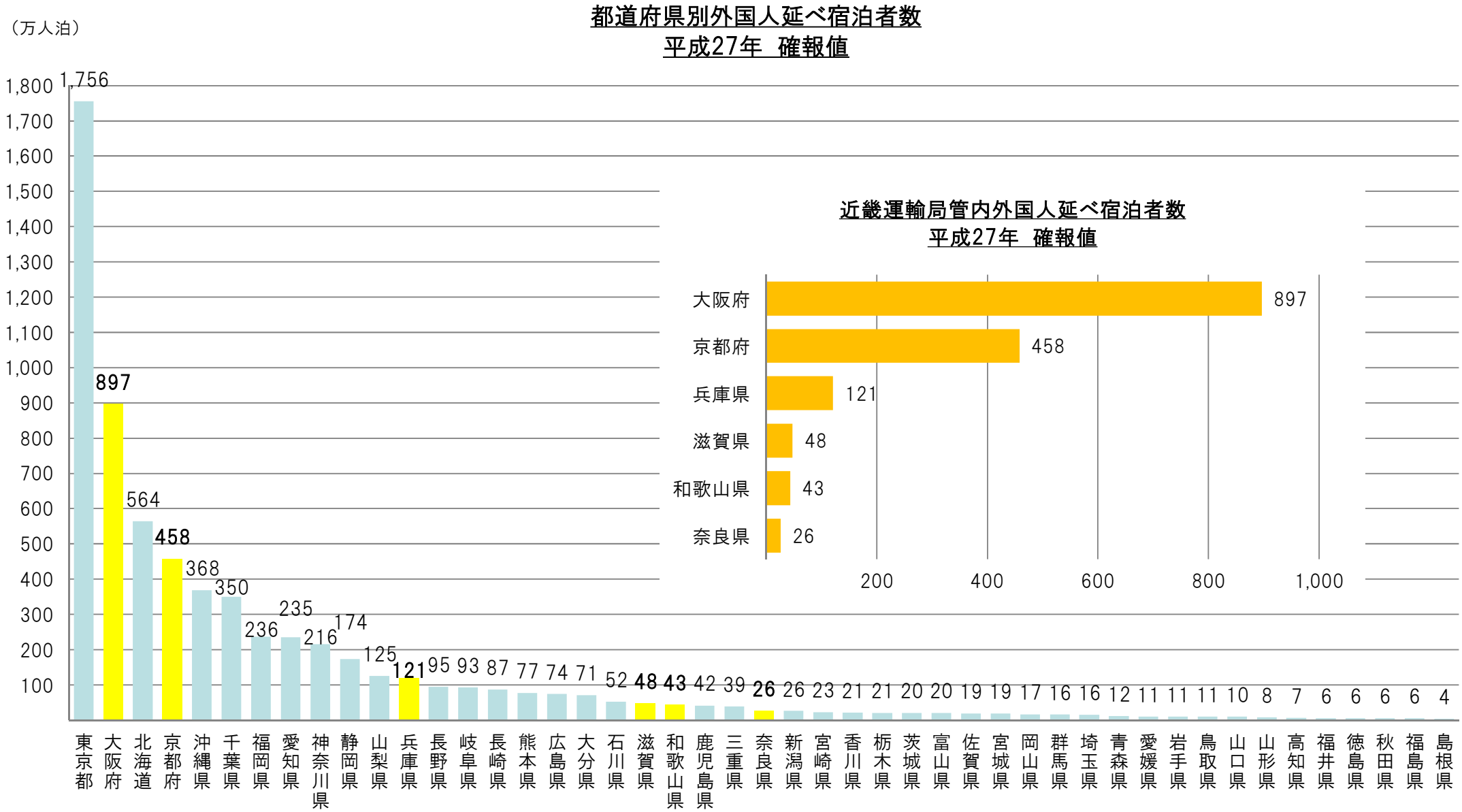


〔出展：観光庁　宿泊旅行統計調査〕

都道府県別外国人延べ宿泊客数（平成27年：確報値）

国土交通省近畿運輸局

○都道府県別延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が大阪府、第3位が北海道、第4位京都府、第5位沖縄県であり、上位5都道府県で全国シェアの6割以上を占めている。

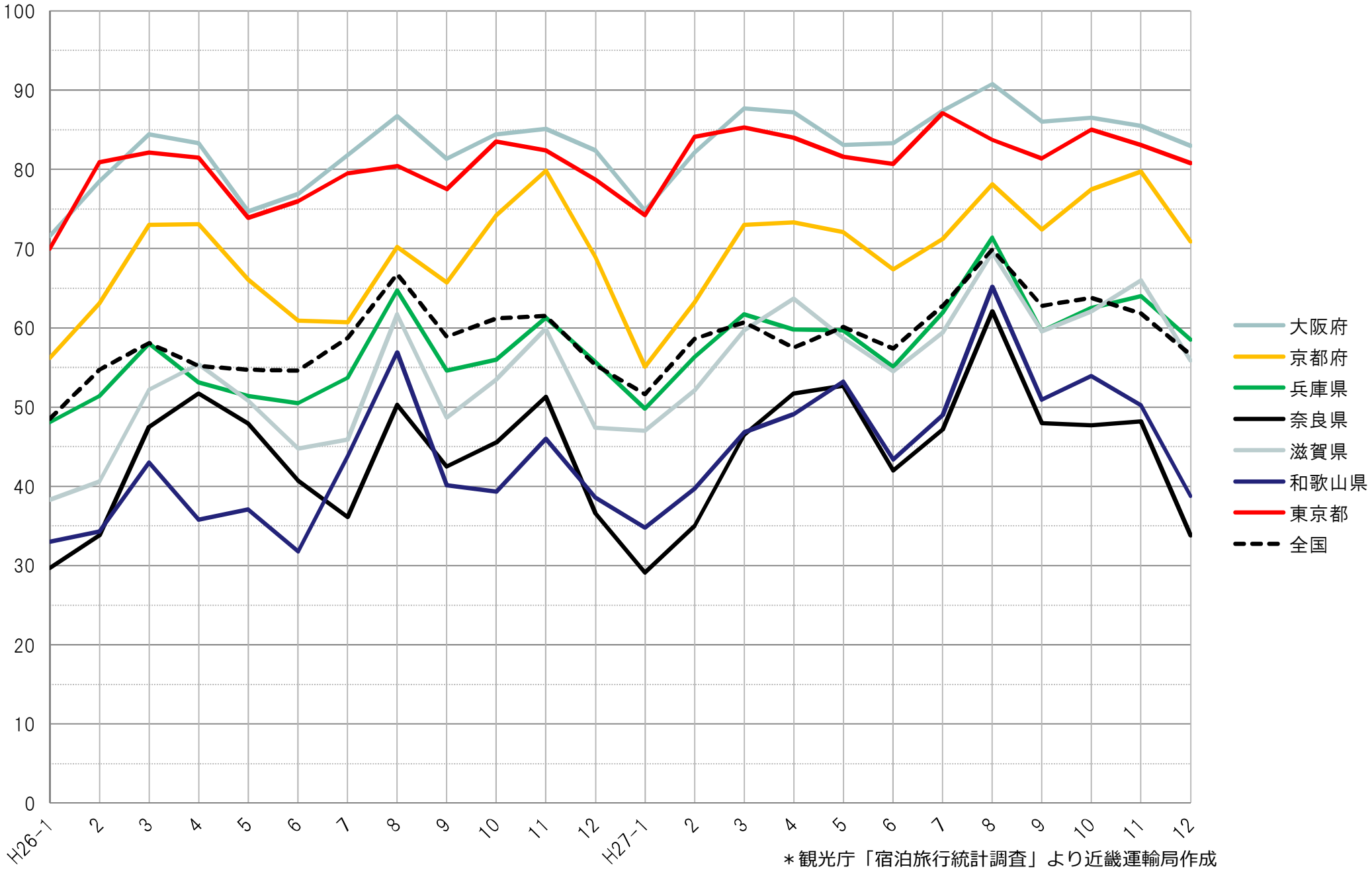


〔出展：観光庁　宿泊旅行統計調査〕

府県別　宿泊施設稼働率

国土交通省近畿運輸局

宿泊施設稼働率の推移

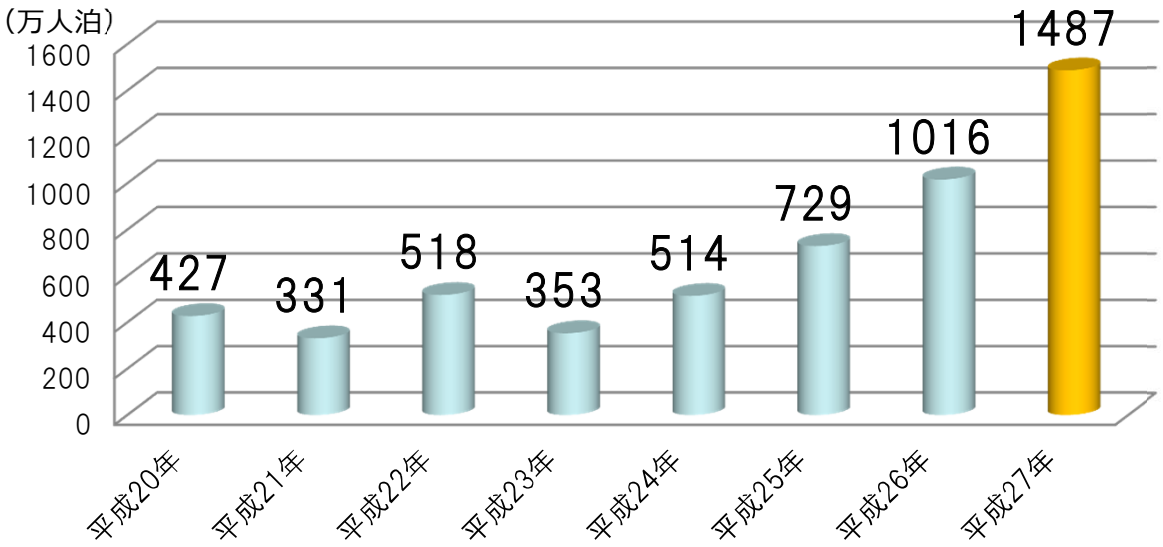


＊観光庁「宿泊旅行統計調査」より近畿運輸局作成

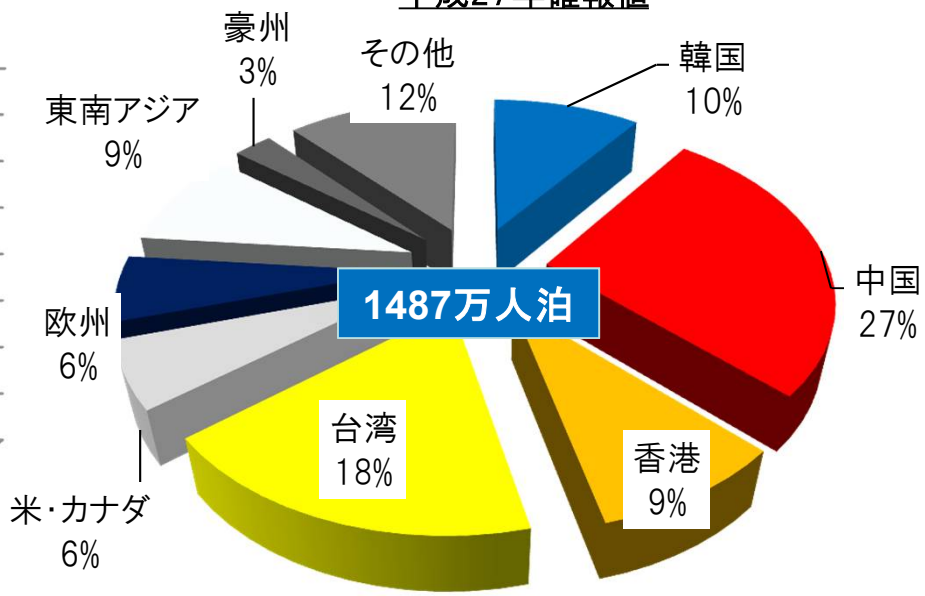
関西における外国人宿泊客数の現状分析

国土交通省近畿運輸局

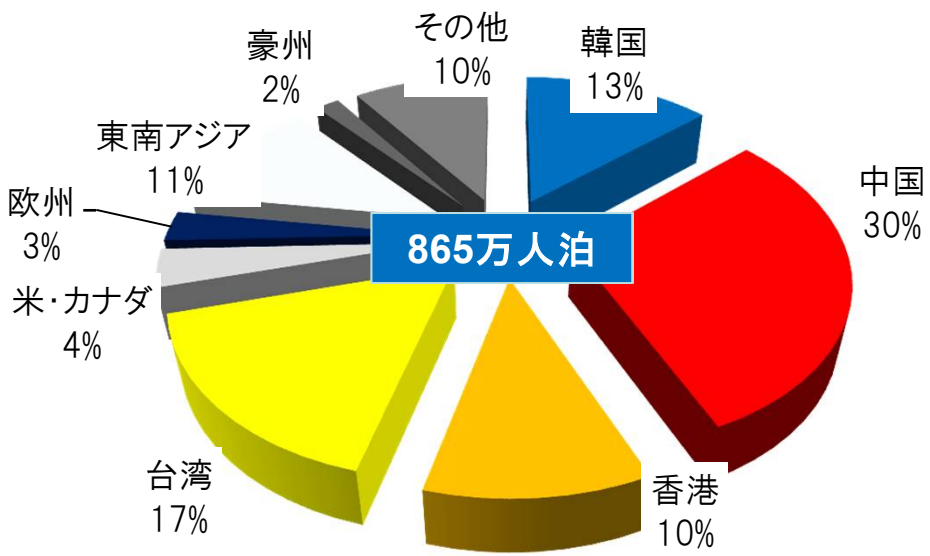
近畿運輸局管内外国人延べ宿泊者数の推移



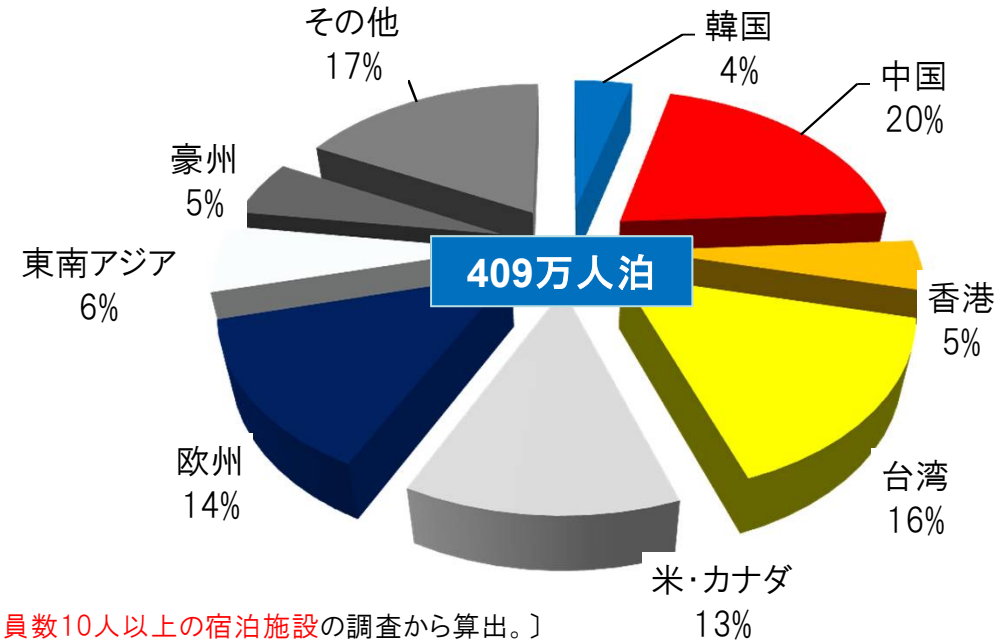
市場別　近畿運輸局管内外国人延べ宿泊者数 平成27年確報値



市場別　大阪府における外国人延べ宿泊者数 平成27年確報値



市場別　京都府における外国人延べ宿泊者数 平成27年確報値



〔出展：観光庁　宿泊旅行統計調査報告（速報値）。従業員数10人以上の宿泊施設の調査から算出。〕

「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」について

国土交通省近畿運輸局

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議

訪日外国人旅行者数2000万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を行う。

2015年11月9日【第１回本会議】

【議　長】 内閣総理大臣
【副議長】 内閣官房長官、国土交通大臣
【構成員】 副総理兼財務大臣、地方創生担当大臣、一億総活躍担当大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣

〈議長：安倍内閣総理大臣〉

（民間有識者）

石井　至	石井兄弟社（旅行ガイド出版社）社長
井上　慎一	Peach Aviation（株）代表取締役CEO
大西　雅之	鶴雅グループ代表
小田　真弓	旅館　加賀屋　女将
唐池　恒二	九州旅客鉄道（株）会長
デービッド・アトキンソン	小西美術工藝社社長
李　容淑	大阪国際大学客員教授

〈副議長：石井国土交通大臣〉

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議ワーキンググループ

- ○ 第１～５回WGにおいて、**有識者ヒアリングを実施**。
- ○ 第６回WGにおいて、**それまでの議論を踏まえた検討課題を整理**。
- ○ 第7～9回WGにおいて、**テーマ別の議論を実施**し、具体的な施策の打ち出し内容を集中的に検討。

【座　　長】
内閣官房長官
【座長代理】
国土交通大臣
【構　成　員】
内閣官房副長官
内閣総理大臣補佐官
内閣官房副長官補
関係省庁局長　等

〈座長：菅内閣官房長官〉

2016年3月30日【第２回本会議】最終とりまとめ（新たな目標設定と必要な対応方策）

これを踏まえ、「観光ビジョン実現に向けたプログラム」において観光ビジョンの取組の進捗をフォロー

「明日の日本を支える観光ビジョン」 －世界が訪れたくなる日本へ－ 概要

平成28年３月30日策定

これまでの議論を踏まえた課題

■我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。

■観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。

■CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。

■高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

「観光先進国」への「３つの視点」と「１０の改革」

視　点　1
「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」

■**「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放**
・赤坂や京都の迎賓館などを大胆に公開・開放

■**「文化財」を、「保存優先」から観光客目線での「理解促進」、そして「活用」へ**
・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化

■**「国立公園」を、世界水準の「ナショナルパーク」へ**
・2020年を目標に、全国５箇所の公園について民間の力も活かし、体験・活用型の空間へと集中改善

■**おもな観光地で「景観計画」をつくり、美しい街並みへ**
・2020年を目途に、原則として全都道府県・全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定

視　点　2
「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」

■**古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ**
・60年以上経過した規制・制度の抜本見直し、ﾄｯﾌﾟﾚﾍﾞﾙの経営人材育成、民泊ﾙｰﾙの整備、宿泊業の生産性向上など、総合ﾊﾟｯｹｰｼﾞで推進・支援

■**あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現**
・欧州・米国・豪州や富裕層などをﾀｰｹﾞｯﾄにしたﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ、戦略的なﾋﾞｻﾞ緩和などを実施
・MICE誘致・開催の支援体制を抜本的に改善
・首都圏におけるﾋﾞｼﾞﾈｽｼﾞｪｯﾄの受入環境改善

■**疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化**
・2020年までに、世界水準DMOを全国100形成
・観光地再生・活性化ﾌｧﾝﾄﾞ、規制緩和などを駆使し、民間の力を最大限活用した安定的・継続的な「観光まちづくり」を実現

視　点　3
「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」

■**ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現**
・世界最高水準の技術活用により、出入国審査の風景を一変
・ｽﾄﾚｽﾌﾘｰな通信・交通利用環境を実現
・ｷｬｯｼｭﾚｽ観光を実現

■**「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現**
・「ｼﾞｬﾊﾟﾝ・ﾚｰﾙﾊﾟｽ」を訪日後でも購入可能化
・新幹線開業やｺﾝｾｯｼｮﾝ空港運営等と連動した、観光地へのｱｸｾｽ交通充実の実現

■**「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現**
・2020年までに、年次有給休暇取得率70%へ向上
・家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化

「明日の日本を支える観光ビジョン」施策概要

1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に

■ **魅力ある公的施設・ｲﾝﾌﾗの大胆な公開・開放**
・赤坂や京都の迎賓館に加え、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を一般向けに公開・開放

■ **文化財の観光資源としての開花**
・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化

■ **国立公園の「ﾅｼｮﾅﾙﾊﾟｰｸ」としてのﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化**
・2020年を目標に、全国５箇所の公園について民間の力を活かし、体験・活用型の空間へと集中改善
・2020年までに、外国人利用者数を1000万人に

■ **景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上**
・2020年を目途に、原則として全都道府県、全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定
・歴まち法の重点区域などで無電柱化を推進

■ **滞在型農山漁村の確立・形成**
・日本ならではの伝統的な生活体験と非農家を含む農村地域の人々との交流を楽しむ「農泊」を推進し、2020年までに全国の農山漁村で50地域創出

■ **地方の商店街等における観光需要の獲得・伝統工芸品等の消費拡大**
・2020年までに、商店街等において、50箇所で街並み整備、1500箇所で外国人受入環境整備
・2020年までに、外国人受入可能な伝統的工芸品産地を100箇所以上に

■ **広域観光周遊ﾙｰﾄの世界水準への改善**
・修景や体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開発等に国から専門家ﾁｰﾑ（ﾊﾟﾗｼｭｰﾄﾁｰﾑ）を派遣

■ **東北の観光復興**
・東北６県の外国人宿泊者数を2020年150万人泊（2015年の３倍）に

2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

■ **観光関係の規制・制度の総合的な見直し**
・通訳案内士、ﾗﾝﾄﾞｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、宿泊業等の抜本見直し

■ **民泊ｻｰﾋﾞｽへの対応**
・現行制度の枠組みにとらわれない宿泊法制度の抜本見直し（本年６月中目途に検討会とりまとめ）

■ **産業界ﾆｰｽﾞを踏まえた観光経営人材の育成強化**
・2020年までに、ﾄｯﾌﾟﾚﾍﾞﾙの経営人材の恒常的な育成拠点を大学院段階（MBAを含む）に形成

■ **宿泊施設不足の早急な解消及び多様なﾆｰｽﾞに合わせた宿泊施設の提供**
・旅館等におけるｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ投資などを促進

■ **世界水準のDMOの形成・育成**
・2020年までに、世界水準DMOを全国で100形成

■ **「観光地再生・活性化ﾌｧﾝﾄﾞ」の継続的な展開**
・観光まちづくりに関する投資や人材支援を安定的・継続的に提供できる体制を整備

■ **次世代の観光立国実現のための財源の検討**
・観光施策に充てる国の追加的な財源確保策を検討

■ **訪日ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの戦略的高度化**
・海外著名人の日本文化体験映像を海外ﾃﾚﾋﾞ局で配信

■ **ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ観光促進のための多様な魅力の対外発信強化**
・在外公館や放送ｺﾝﾃﾝﾂなどを活用した情報発信

■ **MICE誘致の促進**
・政府ﾚﾍﾞﾙでの誘致支援体制の構築

■ **ﾋﾞｻﾞの戦略的緩和**
・中国、ﾌｨﾘﾋﾟﾝ、ﾍﾞﾄﾅﾑ、ｲﾝﾄﾞ、ﾛｼｱの５ヶ国を対象

■ **訪日教育旅行の活性化**
・「2020年までに４万人から５割増」の早期実現

■ **観光教育の充実**
・総合的な学習の時間等における教材の作成・普及

■ **若者のｱｳﾄﾊﾞｳﾝﾄﾞ活性化**
・若者割引等のｻｰﾋﾞｽ開発を通じた海外旅行の推進

3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

■ **最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現**
・世界最高水準の顔認証技術の導入などを促進

■ **民間のまちづくり活動等による「観光・まち一体再生」の推進**
・宿泊施設や観光ﾊﾞｽ乗降場等の整備促進

■ **ｷｬｯｼｭﾚｽ環境の飛躍的改善**
・2020年までに、主要な観光地等における「100%のｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ対応化」などを実現

■ **通信環境の飛躍的向上と誰もが一人歩きでき環境の実現**
・無料Wi-Fi環境とSIMｶｰﾄﾞの相互補完の利用促進

■ **多言語対応による情報発信**
・中小事業者のWEBｻｲﾄの約半分を多言語化

■ **急患等にも十分対応できる外国人患者受入体制の充実**
・2020年までに、外国人患者受入体制が整備された医療機関を全国100箇所整備（現在の約５倍）

■ **「世界一安全な国、日本」の良好な治安等をを体感できる環境整備**
・外国語対応可能な警察職員の配置等の体制整備

■ **「地方創生回廊」の完備**
・「ｼﾞｬﾊﾟﾝ・ﾚｰﾙﾊﾟｽ」を訪日後でも購入可能に

■ **地方空港のｹﾞｰﾄｳｪｲ機能強化とLCC就航促進**
・複数空港の一体運営（ｺﾝｾｯｼｮﾝ等）の推進

■ **ｸﾙｰｽﾞ船受入の更なる拡充**
・2020年に訪日ｸﾙｰｽﾞ旅客を500万人に

■ **公共交通利用環境の革新**
主要な公共交通機関の海外ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ予約を可能に

■ **休暇改革**
・2020年までに年次有給休暇の取得率を70%に

■ **ｵﾘﾊﾟﾗに向けたﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝの推進**
・高い水準のﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ化と心のﾊﾞﾘｱﾌﾘｰを推進

訪日外国人旅行者数2000万人の受入に向けた関西ブロック連絡会の概要

国土交通省近畿運輸局

関西ブロック連絡会主旨

訪日外国人旅行者が、かつてないペースで急増するのにあわせて、訪日外国人旅行者を円滑に受け入れることが出来るよう、地域毎に現状と課題をしっかり把握し、必要な手立てを迅速に講じて行かなければならない。

こうした観点から、各ブロックの地方運輸局、地方整備局、地方航空局が連携して、外国人の円滑な訪日・入国のための方策・訪日外国人の国内移動円滑化のための方策等受入環境について、ブロックごとの現状と課題を十分に把握するとともに、2000万人の外国人旅行者を受け入れるにあたって早急に引き上げる必要がある事項についてはその改善を図り、訪日外国人旅行者2000万人を万全の体制で迎えるべく、地方ブロック別連絡会（以下「連絡会」という）を設置・開催する。

関西ブロック連絡会体制

事務局：近畿地方整備局・近畿運輸局

《構成員》
○国土交通省地方支分部局
○地方自治体　○港湾・空港等の施設管理者
○観光関係事業者団体　○観光関係事業者　等

WG設置

- ◆観光産業対策・観光地域づくりWG
- ◆自動車交通対策WG
- ◆外航クルーズ船対策WG
- ◆空港対策WG
- ◆観光促進対策WG
- ◆交通対策WG

《これまでの経緯及び当面のスケジュール》

○平成27年3月23日
第１回関西ブロック連絡会
現状把握と課題整理

WGにより課題に対する対応策を検討

○平成27年６月２５日
第２回関西ブロック連絡会
対応策の中間とりまとめ

可能なものから順次施策対応を実施

○平成27年12月17日
第３回関西ブロック連絡会
今年のWG成果の進捗・報告
及び年末とりまとめ

○平成２８年２月２９日
年末とりまとめを公表

○平成２８年３月～６月
WGにより新たな課題抽出及び継続課題に対する対応策・支援策を検討

○平成28年６月２９日
第４回関西ブロック連絡会　開催
中間とりまとめ

WGにより課題に対する対応策及び支援策を検討

○平成２８年１２月
第５回関西ブロック連絡会　開催予定
年末とりまとめを公表

観光立国への取り組み（例）

国土交通省近畿運輸局

訪日プロモーション

観光庁・外務省・経産省・農水省等

日本の魅力をPRし、外国人の日本への訪問を強く動機付けるべく、海外広告宣伝や海外メディア招請、旅行博出展などの訪日プロモーションを強力に実施

発信

航空　国交省

クルーズ

ビザ・ＣＩＱ

国交省・法務省・外務省・農水省・厚労省・財務省

外国人が日本を訪れやすい環境を整備するため、ビザ要件の戦略的な緩和や、ＣＩＱ体制（税関・出入国管理・検疫）を整備

受入

国交省

二次交通

政府一丸となった観光振興が必要

受入環境整備

受入

国交省・総務省・経産省・文化庁等

訪日外国人旅行者が日本に滞在する際の不便や不安を解消すべく、無料Wi-Fi環境の整備や多言語対応の強化、免税店の拡大など、受入環境整備を実施

Japan. Tax-free Shop

Free 山梨 Wi-Fi Yamanashi

観光地域づくり

受入

国交省・農水省・文化庁等

外国人旅行者を惹き付ける観光地づくりを進めるべく、各地域の広域的な連携を促進するとともに、地域の観光資源を発掘し、徹底的に磨き上げ

広域観光周遊ルートの形成促進

国土交通省近畿運輸局

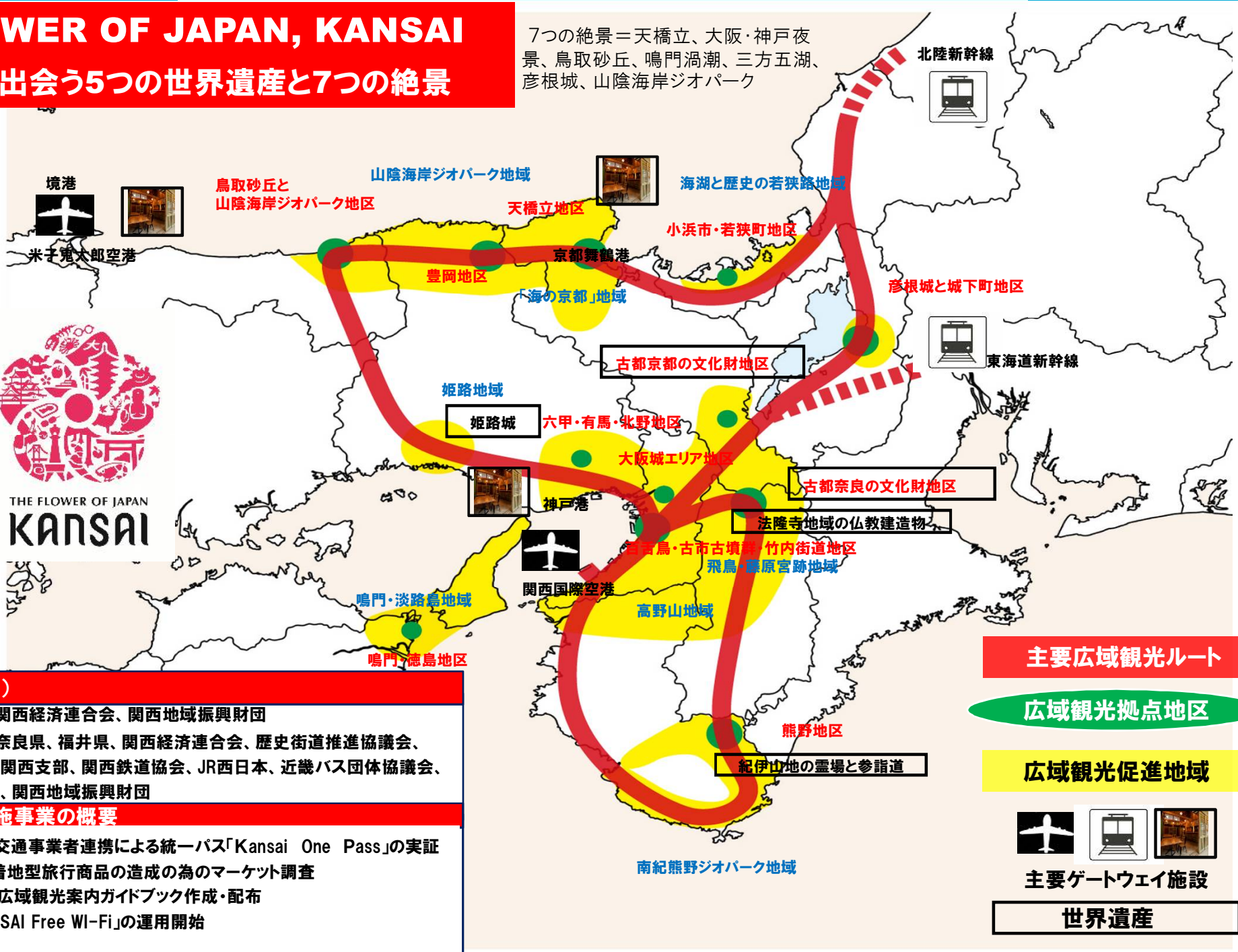
THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI

日本の美に出会う5つの世界遺産と7つの絶景

7つの絶景＝天橋立、大阪・神戸夜景、鳥取砂丘、鳴門渦潮、三方五湖、彦根城、山陰海岸ジオパーク

主要広域観光ルート

『美の伝説』



申請者（事業実施体制）

- 申請者：関西広域連合、関西経済連合会、関西地域振興財団
- 構成員：関西広域連合、奈良県、福井県、関西経済連合会、歴史街道推進協議会、日本旅行業協会関西支部、関西鉄道協会、JR西日本、近畿バス団体協議会、新関西国際空港、関西地域振興財団

平成28年度の主な実施事業の概要

- 受入環境整備　関西交通事業者連携による統一パス「Kansai One Pass」の実証
- 滞在コンテンツの充実　着地型旅行商品の造成の為のマーケット調査
- 情報発信・プロモーション　広域観光案内ガイドブック作成・配布
- その他　「KANSAI Free WI-Fi」の運用開始

観光地域づくりへの支援

城崎温泉(豊岡市)

熊野古道（田辺市）

〇豊岡市の外国人宿泊者数
　(H23)1,118人→(H27)34,318人
〇宿泊客の平準化に貢献
〇DMO「豊岡観光イノベーション」を設立

〇田辺市の外国人宿泊者数
　21,536人（前年比182%）
　うち欧米豪からの宿泊者数14,137人
〇田辺市熊野ﾂｰﾘｽﾞﾑﾋﾞｭｰﾛｰを中心に誘客

Japan. Endless Discovery.

ご清聴ありがとうございました